

## たかさご史話 ②

### 高砂市史編さんを始めるにあたって

播磨地域では姫路市と加古川市が十数年前から、また小野市と加西市でも数年前から市史編さんを行っています。

当市でも昨年10月に専門委員が委嘱され、本格的に市史編さん事業が開始されました。

私はこれまで姫路市史、加古川市史、小野市史、福崎町

史の編さんに携わりましたが、その経験を生かして、高い学術水準を保ちながらも内容豊かな、市民の皆様親しんでいただける市史をつくりたいと考えています。

市史とは地域の歴史であると同時に都市の歴史でもあると言えます。地域の歴史というのは、「どこを切っても高砂の血が出る」ような、なまの史料に裏付けられた地域の特色と個性あふれる歴史叙述を意味しています。しかも単なる郷土自慢ではなく、地域で積み重ねてきた歴史的営みを

通じて、日本全体の歴史の流れが見通せる内容にしたいと思います。また都市の歴史とは、単なる行政区画としての市域ではなく、地域社会の核として人々が集住し、経済や文化の中心地となっていた都市としての歴史を意味しています。

高砂は古代以来の港町であり、加古川舟運と瀬戸内の海運の結節点として全国各地と結びつき、経済的にも文化的にもすぐれた都市的伝統を有しています。

このような都市高砂とその周辺農村を含めた地域社会の歴史を具体的に描き出すことによって、過去の再認識と未来への展望に役立つことを願っています。

（高砂市史編さん専門委員長

神戸女子大学教授

今井修平氏）